

第1回全国理事会について

9月5日(金)の第1回全国理事会ですが、日本を横断する台風が発生したため、オンラインで開催されました。

まず、報告事項(6月～9月)として、①令和7年度定期総会審議結果報告②全公教「令和7年度活動経過報告」③全国8ブロックからの活動経過報告④専門部活動報告(総務・調査部、研修部、広報部)の4つの事項について、各会長及び部長より報告がありました。

次に、報告・協議事項として、①第67回全国教頭会研究大会茨城大会の開催報告

②第68回全国教頭会研究大会北海道大会についての大会概要③令和8年度の全公教年間活動計画や役員・専門部の地区別の選出、主な会議の日程案④全公教顧問会規程の一部改正について提案があり、いずれも承認されました。また、国会議員への要請活動(9月26日)について、説明が行われました。

その後、文部科学省初等中等教育局財務課課長の山田泰造氏による講演「学校における働き方改革」の研修が行われました。講演の中では、学校現場での効果的な実践として、勤務状況の見える化や校務のDX化についての紹介がありました。また、「学校と教師の業務3分類」や「副校長・教頭マネジメント支援員」の効果や「働きやすさ」とともに「働きがい」を育む学校運営について説明がありました。(会長 藤井)

第2回役員・理事研修会について

9月10日(水)、福岡リーセントホテルにて、第2回各郡市代表教頭研修会(役員・理事研修会)を実施しました。前半は、元読売巨人軍アカデミーコーチの金屋佑一郎様をお招きして、「子供たちのやる気を育む言葉の使い方」をテーマにご講話いただきました。「肯定的な言葉かけ」「人のよいところを見つける思考の癖」など、子供たちへの声かけとともに、自分自身を見つめ直す貴重な学びの機会となりました。参加された先生方からも「大変参考になった」「明日からの実践に生かしたい」といった感想が多数寄せられました。

後半は、本年度の福岡県公立小学校教頭会研究大会(南筑後地区大会)や全国公立学校教頭会の各会について参加者の皆様と共有することができました。

前半、後半を通して、大変有意義で充実した研修会となりました。(幹事長 富松)

全国要請部長会および要請活動について

9月25日(木)に東京都都市センターホテルにて全国要請推進部長会が開催されました。まず、全体会として、文部科学省初等中等教育局財務課より、「令和8年度概算要求」についての説明がありました。また、全公教総務・調査部から「令和7年度全公教調査における緊急課題」に関する報告があり、課題として「教員不足問題に関する現状」「副校長・教頭マネジメント支援員の配置」「学校・教師が担う業務に係る3分類」が挙がっていました。特に三つ目の三分類については、翌26日に文科省から三郡類が刷新されたとのニュースがありました。正に全公教調査が活かされていると言えます。次に講演会として、OCC教育テック大学院大学教授の妹尾 昌俊 先生から「教育政策の見方・考え方～教育行政の癖を理解し、要請活動に活かす」というテーマで講話がありました。

翌9月26日(金)には、県教頭会会長と要請部長の2名で、国会議員会館を訪ね、福岡県選出の3名の国会議員の方に対して要請活動を行いました。3名の国会議員の方も教育現場の課題については与野党問わずご理解いただき、処遇改善等に積極的に取り組んでいくことを約束していただきました。(調査要請部長 中根)

